

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年11月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675400115
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	ろうけん大楠グループホームたんぼぼ (すみれ棟)
所在地	鹿児島県始良市蒲生町下久徳1251番地 (電話) 0995-54-3101
自己評価作成日	令和3年11月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年12月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

ろうけん大楠グループホームたんぼぼは、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所と隣接し、母体事業所との連携も整っています。日々の出来事を忘れ、明日への希望が持てない生活を送っている入居者様が多い中、その日その時を大事にし、入居者様の出来ることを維持しながら、共に支えあう関係作りを目指しています。入居者様のご要望に合わせ、毎日入浴できる様にしています。また、たんぼぼ農園で季節の野菜を作ったり、気候の良い時にバーベキューを行う等、楽しみの持てる環境作りをしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り後に、職員で介護理念を唱和し、それを入居者様とのかかわりの中で反映されるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染症の流行により、通常地域交流は困難であったが、未知の感染症への対応について、各事業所、自治体と日頃より密に情報共有を図っている。以前のような、地域交流は出来ていないのが現状である。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	主に各居宅事業所の担当ケアマネジャーを窓口し、相談者から直接お電話をいただき、ご相談を伺っている。ご家庭での様子や認知症の症状、ご家族との関係性や利用サービス等を伺い、ご家庭での介護の一助となるような助言に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在は、書面開催を行い、電話などにて意見を伺いながら、サービス向上を図っている。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>コロナ禍にて書面開催ではあるが、運営推進会議等でアドバイスや情報提供を頂いたり、電話等でもスムーズに対応して頂いている。困難ケースなどの相談なども伺い協力関係を築けている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>事業所で毎月委員会を開催し、定義について再確認している。個人の意思を尊重し、主体的活動を支援する事が身体拘束の防止につながるため、個別ケアの検討を行うケア会議を最重視している。身体拘束のみならず、精神的拘束にも留意している。また、離設される入居者が複数いるため、スタッフ間で連携を図り、付き添い・見守りを行う事で拘束しないよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>GH会議で(言葉・身体)暴力、虐待について学習しケアに努めている。特にTV・新聞に報道されるような事件が発生した際は、積極的に話題に取り上げる事で、同じような悩みを抱える職員が一人で抱え込まないように努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業及び成年後見制度について、ホーム内研修を行った。現在、棟内には対象者はいないが、核家族化や少子化が進む中で、身近に必要とする方が今後増える事や活用できるよう話し合っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結・解約の際は十分に説明を行い重要事項説明書・利用契約についてご本人、ご家族様が十分に納得、理解された上で同意を頂き契約を取り交わしている。重度化や看取り及び医療連携体制等についても同様に十分な説明を行い納得理解され同意を頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	親しい間柄にあっても本音を明かさないう居者様・ご家族もおられ、それを察してあげられる”気遣い”や環境・雰囲気作りを大切にしている。意見箱も設置している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回、ケア会議とグループホーム会議を行っており、また、日常的にスタッフ間でコミュニケーションを図り、意見交換できる機会を設けている。意見の言えない職員に対しては、個別で面談などを行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎年、健康診断を実施し、定期的に職員の健康状態の把握に努めている。特に本年度は感染症対策の一環としても、出勤時と食後休憩中に2回は検温を行い、毎日常調不良者の把握に努め、調整を行っている。また、産休・育休制度や介護休暇制度を活用できるよう努め、個々の事情に応じて、勤務時間の調整も行い、働きやすい環境の提供に努めている。資格取得に関しても、適宜、人的・金銭的バックアップを行い、手当への反映を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍により、外部研修が実施出来ない為、一人一人の力量を把握した上で、法人内での個別スキルアッププログラムを実施している。また、DVDやプロジェクターを活用し、感染症対策など全体研修も取り入れている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム協議会に登録し、同業者との交流の機会を設けるよう努めているが、今年度は研修や講演会への参加を行えていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人ご家族の希望や状況により病院受診や送迎等必要な支援には柔軟に対応している。健康管理や状態変化に対しても、かかりつけ病院と連携を図り対処している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初めての相談時、ご家族との面談を行いご家族の困っていることや不安などゆっくりお聞きし家族の状況を把握することによって信頼関係を築くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、ご本人やご家族の思い、生活状況等を確認し必要に応じた支援を見極め、事業所でのサービス内容をしっかりお伝えし、早急な対応が必要な相談者には可能な限り柔軟な対応をしながらホームに空きがない場合は他の事業所のサービスを紹介する等の対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と一緒に家事を行う様になっている。掃除、料理の下準備、洗濯物たたみ等本人の得意な事を活かせる場面作りを日常的にしている。昔の歌や楽しい遊び方等も教えて頂いたりしながら楽しく思い出されるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>グループホーム便りやご本人に家族宛の手紙を書いてもらい、ホームでの様子を知らせ日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に努め日頃からご家族とのコミュニケーションを取っている。電話等での対話も行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人の気持ちに寄り添い、地域の思い出に残っている場所や馴染みであった建物等を見学する為のドライブを行っている。車中思い出話しをする事で、友人や知人の記憶が途切れないための支援を行っている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションや家事活動等を通じて利用者同士の交友関係を築いている。利用者同士のトラブルや心身の状態、気分感情にも注意を払い見守っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>併設の施設へ移られた利用者の所にも入居者と一緒に遊びに行ったり、事業所にも遊びに来てもらう等継続的な付き合いが出来る様心がけている。又、そのご家族にも立ち寄って頂いたり相談に乗っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中でご本人又、利用者間のお話を聞き、思いや意向の把握に努めている。意思疎通の困難な方には言葉や表情から真意を推し図ったりご家族へも相談し一緒に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時にご本人やご家族より聞き取りを十分行い本人自身の話や家族、知人等の来訪時にもプライバシーに配慮しながら把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの生活リズムや心身状態を記録し、ご本人の全体像の把握に努めている。出来る事に着目し家事や趣味活動（絵描き、塗り絵、カラオケ、ゲーム、料理）等の取り組みを行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時や担当者会議などで必ずご本人やご家族の思いや意見を聞く様にしケア会議やカンファレンスで気づき、問題点などについて話し合い介護計画に活かしている。介護計画の見直しは個々の状態変化に応じ、ご本人ご家族の意見や要望を基に主治医や職員と話し合いを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や介護日誌は個別に記録し、食事、排泄、体温、血圧、脈拍等の健康状態を記録し、日々情報の共有に繋げている。介護日誌は日中（黒）夜間（赤）と区別して見やすく工夫している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人ご家族の希望や状況により病院受診や送迎等必要な支援には柔軟に対応している。健康管理や状態変化に対しても、主治医、看護師と連携を図り対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	できる限り地域の行事に参加したり、ボランティアの受け入れや、外出支援などを行っているが、新型コロナウイルスの影響もあり、例年ほどは実施できていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隔週で訪問診療を実施する健康管理体制に同意の上、入居いただいている。また、他院への受診が必要な場合は速やかにご家族に連絡し、意向を確認している。ご家族の付き添いが困難な場合は、スタッフが同行する等、適切な医療を受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>隔週の訪問診療の際、同行する特定の看護師と綿密に連携を図っている。日々のバイタルチェックや介護記録で異常が見られる場合は、病院へFAXまたは電話で状態を報告し、適切な医療や看護が受けられるよう指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、継続介護連絡表を病院に渡し、情報を共有している。入院時も洗濯物等を持参。病院関係者と情報を交換し、今後の相談、見通しなどを行い、早期退院に努めている。退院後の相談などもしやすい関係にある。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居当初より、どのような終末期を望むか、確認している。本人様には、棺に入りたい大切なものや大事な洋服など、意思表示ができる元気なうちに日常会話の中から把握し、実際のお見送りに反映するよう努めている。主治医や看護師を交え、ご家族・職員と共にチームを作り、具体的な対応を話し合い、希望に沿った支援を前向きに検討しながら取り組んでいるが、地域の関係者を交えた支援には至っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>例年、消防署の指導による救急講習の訓練を行っているが、今年度はコロナ禍において自主訓練を行った。急変時の対応等は、緊急連絡網の整備、研修等を行い実施している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練を行い、夜間想定を実施するが、重度化のため以前のように入居者様が全員避難することは難しくなってきた。併設施設の協力、民生委員への協力も依頼している。厚労省のBCP（業務継続計画）の資料及び動画を用いた研修を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉のかけ方に留意し、自尊心を傷つけないよう注意を払っている。居室やトイレでは声掛けし入室する等プライバシーの保護に努めている。記録等個人情報に関しては、施錠出来る保管場所で保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望や思いには、常に耳を傾けコミュニケーションを取り自己決定出来るようにしている。又意思疎通が出来ない方には表情や態度をくみ取り表現しやすいように対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々人のペースに応じた柔軟な対応をし、その人の体調に配慮しながら特徴を生かし持続する為に個別性のある支援をしたり、その人がやりたい事を見守ってあげるようにしている。 (絵描き、塗り絵、ドライブ、読書、起床時間や入浴時間等)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床後の洗面と同時に鏡を見ながら髪の手入れや入浴後の洋服選びなど利用者の好みを聞いて一緒に行っている。又、定期的に美容師が訪問し散髪を行い、希望に合った髪形にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材や新鮮な物を取り入れ、調理の下準備を利用者の個々の力を生かしながら行っている。お盆のセッティング、後片づけ等できる方に手伝って頂き、食器洗いやお盆拭きなども一緒にしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに応じた食事形態に留意しながら、栄養バランスや見た目を大事にして楽しみを持てる食事作りを心がけている。また、水分チェックを行い水分摂取量の低下を防止している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に義歯の洗浄や、歯磨きの声かけや誘導を行ない、利用者全員の口腔ケアに努めている。自力で出来ない方には、見守りや援助により行っている。就寝前にはポリデント消毒を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりのサインを見逃さないよう様子観察し、定期的に声かけ誘導を行っている。夜間帯ポータブルトイレ使用の場合は、プライバシーに充分配慮し、出来る事は自分で行き、困難な部分のみ支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、牛乳や好みの飲み物を飲用し食事以外にも水分補給に気をつけ、繊維質の多い食品を献立やおやつに取り入れている。朝の散歩を行い、レクリエーション等本人の楽しめる部分で体を動かす機会を設け、便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの体調の変化などを確認しながら入浴を行っている。本人の希望や習慣、羞恥心、恐怖心に配慮し時間帯順番は相談し決めている。又、本人が気乗りしない時は無理に勧めず時間を置いて声をかけるなどしている。行事浴も実施（ゆず湯等）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>掃除や食事作り、レクレーション、散歩、外出等日中の活動を通して生活のリズムを作り安眠に繋げ個別に休憩を取り入れている。寝つけない人には、お茶を飲みながら本人の訴えに傾聴し安心して休んでいただくよう対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員は、個々の薬の目的を周知し正しく服薬できるように1人1人の薬剤情報提供用紙をファイル、整理している。状況の変化をチェック、その記録などを医師に報告し追加薬や臨時薬を処方された場合は、全職員が把握できるように申し送りノートに記入している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴や趣味等を把握し、本人が好きでできる事を支援している。楽しみながら自分らしく生活していただけるようにしている。本人の得意とする家事援助やレク活動（絵描き、食事作り、カラオケ、買い物、塗り絵）等で力を発揮されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>こもりがちにならないように、気分転換やストレスの発散・五感の刺激を兼ねて散歩に出かけたり、スタッフ同行でドライブを行っている。歩行困難な方は、車椅子等利用して戸外へ。（本人に合わせた移動の配慮をしている）又、季節に応じた行事は（花見等）少人数で外出し、車中より外を見物するようにしている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>殆どの入居者はご家族が金銭管理をしている。ご本人の希望があった場合に限り、金銭管理のできない入居者には職員がお手伝いしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族が遠方の方は、ホーム便りや本人が書かれた手紙などを郵送している。年賀状、暑中見舞いとして出したりと家族との交流を図っている。電話が来たりかけたりする時は、子機を使用し気兼ねなく居室でお話して頂くようプライバシーに配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた布団、ラジオや写真等を持参してもらい、その人らしく設営し、我が家のように居心地よく過ごせるよう工夫している。共用の空間では花を飾る等季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるよう配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関、リビングにソファを置き、気の合う利用者様同士が話をされたりくつろげるスペースを準備している。又、入居者様同士の関係性などに配慮した居場所作りをしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が自宅で使用していた馴染みの布団、時計、ラジオ、写真、人形等使い慣れた日用品をご家族に持ち込んでもらいその人らしく過ごして頂いている。又、ご主人の遺影等を置き、花を飾るなどして居心地の良さに配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室など混乱しやすい場所には、入居者の目線に合わせ、名前やトイレと紙に書いて表示している。リビング、トイレ、浴室等ほとんどの場所に手すりを設置し安全と自立への配慮をしている。車いす自操で障害物の内容動線錠の整理整頓を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない